

J E A S がセミナー開催

「AIカメラ利活用」の課題学ぶ

日本万引防止システム協会（J E A S・稲本義範会長）は12月20日、東京都新宿区内で「AIカメラなど利活用に向けての人材育成」と「カメラと個人情報保護法」パ
ンフレット活用」と題したセミナーを開いた。

2人の講師が登場した。経済産業省・情報技術利用促進課の森野智子総括係長は「次世代の情報処理基盤の構築に向けて・AI利活用人材の育成」と題して講演。ガイドライン策定など政府によるAI事業の取り組みを紹介した。企業担当者などの専門能力向上を図る国家資格「ITパスポート」の受験を呼び掛けた。



稲本会長
(J E A S提供)

内閣府の個人情報保護委員会・木村一輝参事官補佐は、同委員会製作のパンフレット「カメラと個人情報保護法」を説明。パンフレットは事業者が監視カメラや顔認証システムを使用する際の留意点を分かりやすく解説したもので今後、動画配信も予定している。

AI搭載カメラ・システムのメーカーが参加するパネルディスカッションも行った。アクシスコミユニケーションズ・森川真次シニアアカウントマネージャとリアア太平洋地区副会長は、AI規制などについて意見を述べ合った。

稲本会長はJ E A S認定「推薦製品」の4機種目として、キャスレーディープリンベーションズ（東京都渋谷区、砂川和雅社長）の「ASCA/不審者検知 with SAFR」を新たに認定したことを報告した。